

令和 3 年度

事務事業評価表 (令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		電子図書館システム運用事業		事業区分			担当			
政策体系		政策体系上の位置付け		新規/継続 単独/補助	新規 補助	事務事業No.	020203001071			
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進					所属課	090601		
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり					課長名			
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進					グループ	生涯学習G		
手段名		O3 ③生涯学習・文化施設の活用					担当者名			
		財務会計上の位置付け		事業期間						
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度)			
	01	10	05	02	06	00	シトラス管理事業			
法令根拠								☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

[Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
<p>①事務事業の概要 (事務事業の全体像)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛状況においても、非接触型サービスである電子図書館システムの整備により、思うように外出できない市民のストレスの緩和、子どもが本に親しむ機会の確保、家庭内学習の支援などを目的とする。 また、身体的に図書館を利用出来ない方や、開館時間中に来館が困難な方に向けても、24時間提供可能な非来館者向けサービスとして利便性が著しく向上することから、図書館サービスの充実にあ資するものとして、電子図書館システムを導入する。</p>	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <p>4月…新入児童にID・パスワードを配布 毎月…クラウド使用料支払い (10, 000円/月) コンテンツ購入 (年間予算3,270千円) ※検収しないとコンテンツリストに入らないので注意 定常…利用申請処理 電子図書館トップページ管理 (お知らせ管理、特集管理など) 桜川市独自資料登録 (起案の上で実施) 転校等による児童生徒の利用停止処理 ※学校教育課 企画・営繕Gから通知してもらうこと</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
図書館システムの管理 図書館システムコンテンツの充実	電子図書館商用コンテンツ数	冊	0.00	13,173.00	14,200.00	15,000.00	16,000.00
	桜川市独自コンテンツ数	冊	0.00	10.00	20.00	30.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市内在住、在勤、在学者	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
	利用登録者数	人	0.00	3,176.00	3,500.00	3,700.00	3,900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民の学習活動の活性化	コンテンツ貸出数	冊	0.00	10,545.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
	学習活動を行う市民の割合	%	24.60	29.70	30.00	32.00	35.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量		
				(実績)	(実績)	(計画)			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	22,220	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	4,590	0		
		事業費計 (A)	千円	0	22,220	4,590	0		
		正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人			
02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)					
事業費の内訳		12 委託料		22,000		10 需用費	3,270		
		13 使用料及び賃借料		220		13 使用料及び賃借料	1,320		
合 計				22,220	合 計				4,590

事務事業名	電子図書館システム運用事業	事務事業No.	20203001071	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」事業として整備を行った。 電子図書館開始にあたっては、市職員に愛称の募集を行い、「さくらがわ電子図書館～SaGaCitE～」を愛称として決定した。 同年度に整備された戯画スクールによる児童生徒へのタブレット配布と連携し、市内の中小義務教育学校児童生徒にID・パスワードを配布した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 議会（常任委員会）などでは、新たな取り組みとして期待する声が出ている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民の学習環境の充実、既存図書施設のサービスの補完となることから、市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 図書サービスは、公共図書館など行政が整備するのが一般的であり、市民の学習環境の向上に資することから妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 商用・独自コンテンツとともに今後も充実していくことが見込まれることから、向上の余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 図書サービスの低下につながるほか、コロナウイルスのような感染症対策による自粛期間であっても利用できるものとして、市民の学習機会の確保やストレス緩和、家庭や学校での学習環境の向上が見込まれることから、影響が大きい。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 感染症の流行時に在宅でも利用できる非接触型図書サービスとして、ほかに代わる手段はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない スタートしたばかりのサービスであり、定着させていくためにも常に新鮮なコンテンツ導入は必要である。一定以上のコンテンツを確保し、利用が市民に定着すれば、新規コンテンツ数を絞ることによる削減余地が生まれる。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民や在勤・在学者であれば利用申請ができるサービスであり、各個人の端末で特別な費用負担がなく利用できることから公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 利用の定着及び活性化のためにもコンテンツの更なる充実が必要である。 購入する商用コンテンツの他にも、桜川市独自の学習コンテンツを開発し、電子図書館に掲載することにより、桜川市独自のデジタルアーカイブを構築することも有効な手段と考えられる。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 現在の契約では基本使用料に含まれる10GBまでしか独自資料のコンテンツが利用できないことから、今後拡充していくと容量が不足する可能性がある。ただし、クラウド使用量に所定の追加料金を支払うことにより容量の拡大は可能である。 独自コンテンツについて、常に新たなコンテンツを作成し、公開していかないと内容が陳腐化し、電子図書館サービスの利用低下につながる可能性がある。																								
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	